

# 区間電源切替スイッチ 取扱説明書

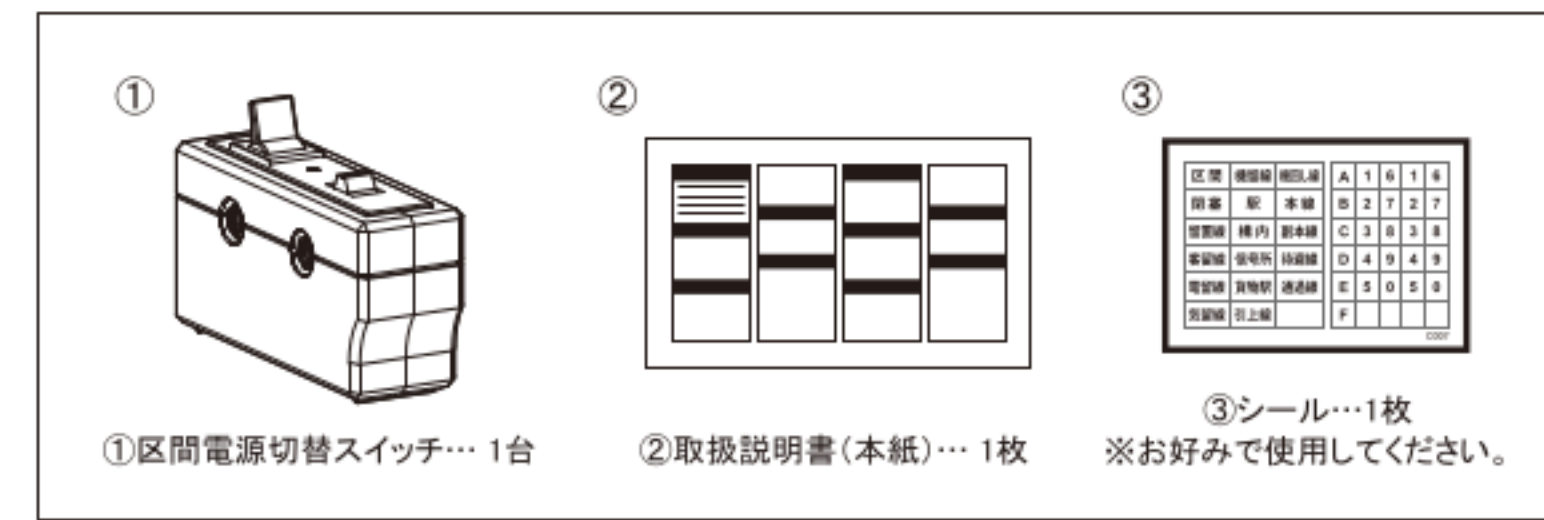
※フィーダーケーブルやギャップジョイナー等が別途必要です。レイアウトに合わせてお買い求めください。

この度は、ロクハン製品をお買い求め頂きありがとうございます。ご使用前に、必ず取扱説明書とパッケージ裏面の取り扱い上の注意をよく読み、正しくお使いください。

## 1. 取り扱い上の注意

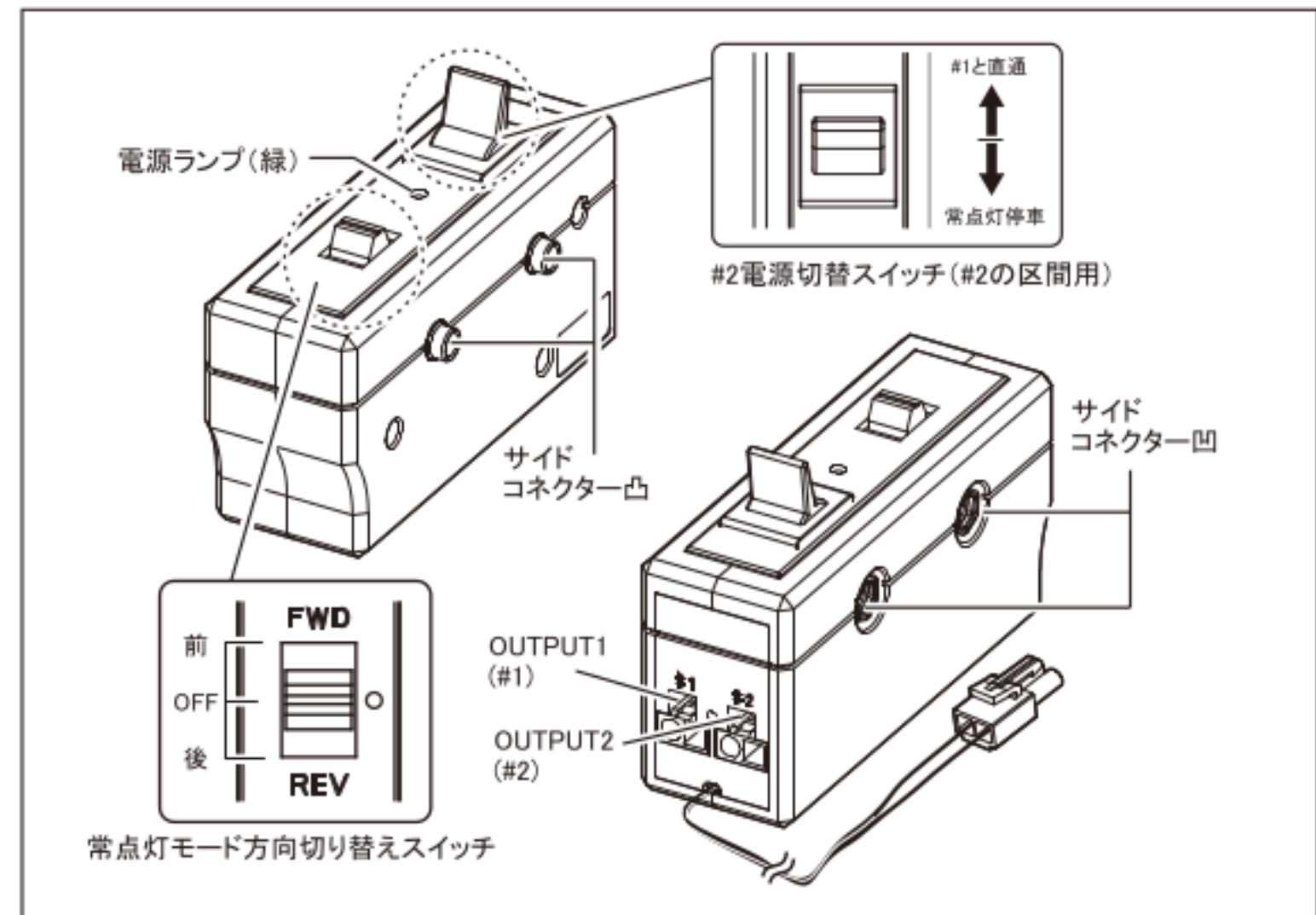
- 区間電源切替スイッチは、ロクハン専用コントローラー (RC-02 or RC-03) 以外と接続しないでください。それ以外のコントローラーを接続すると、正常に動作しない他、故障の原因となります。
- 車両がギャップジョイナーを跨いだ状態では、ショートする可能性がありますので、スイッチを切り替えないでください。
- 高温になるストーブ等の前、湿気やホコリの多い場所での使用は、故障の原因となります。
- 区間電源切替スイッチは、絶対に分解しないでください。

## 2. セット内容



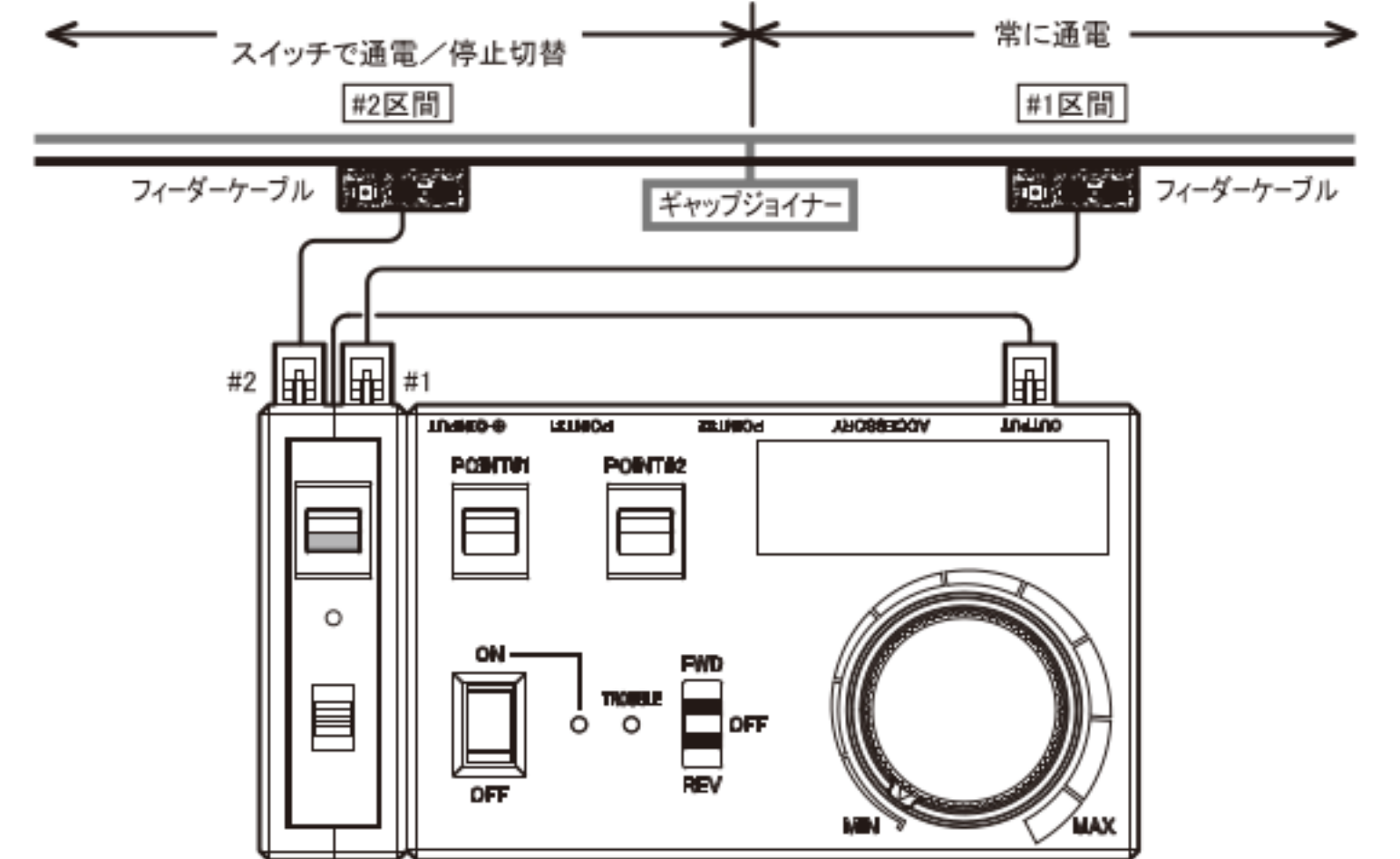
## 3. 区間電源切替スイッチについて

ギャップジョイナー等で絶縁した区間の電源を切り替え、ヘッド・テールライトや室内灯等のライト類を常点灯したまま停車させるスイッチです。



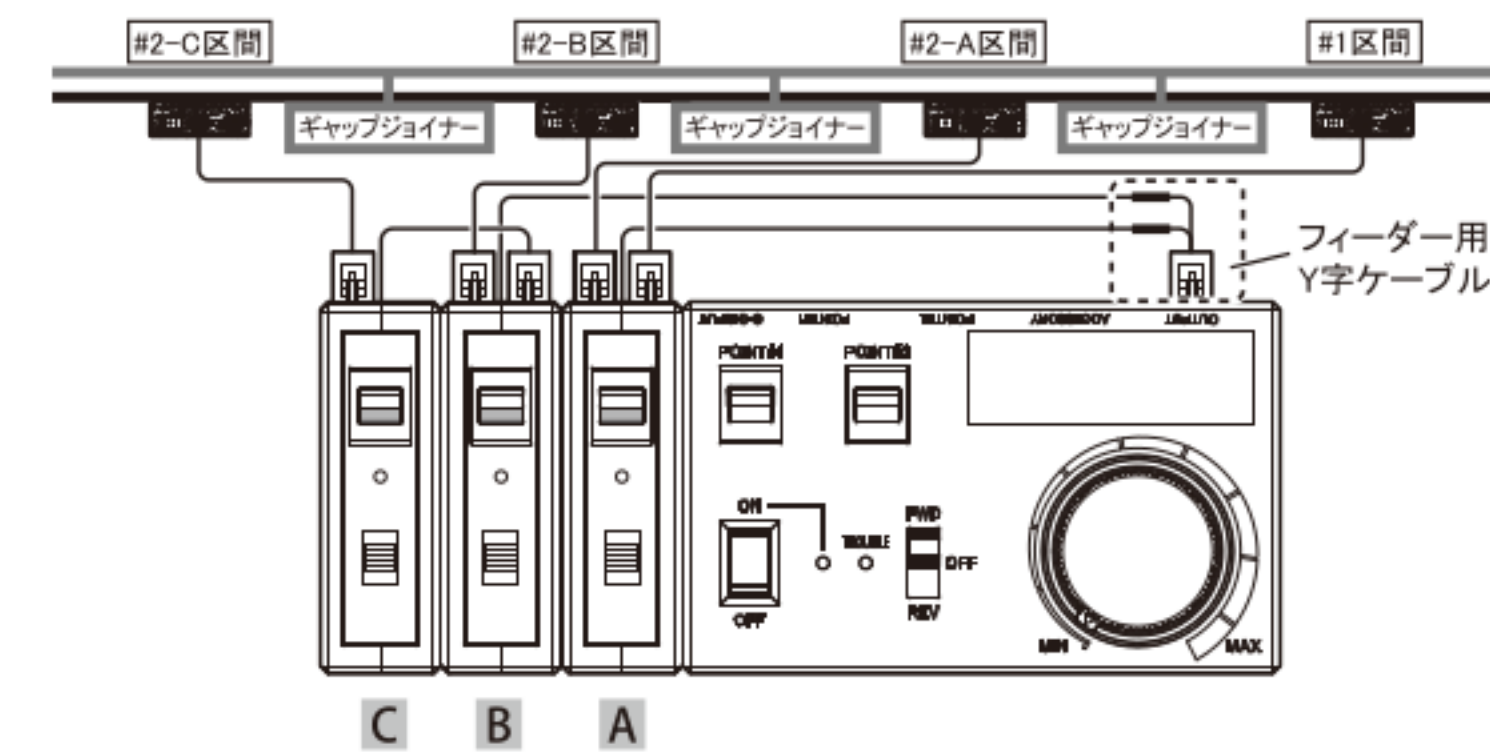
## 4. 接続と配線方法

### 4-1 1区間のみ切り替え(スイッチ1個)



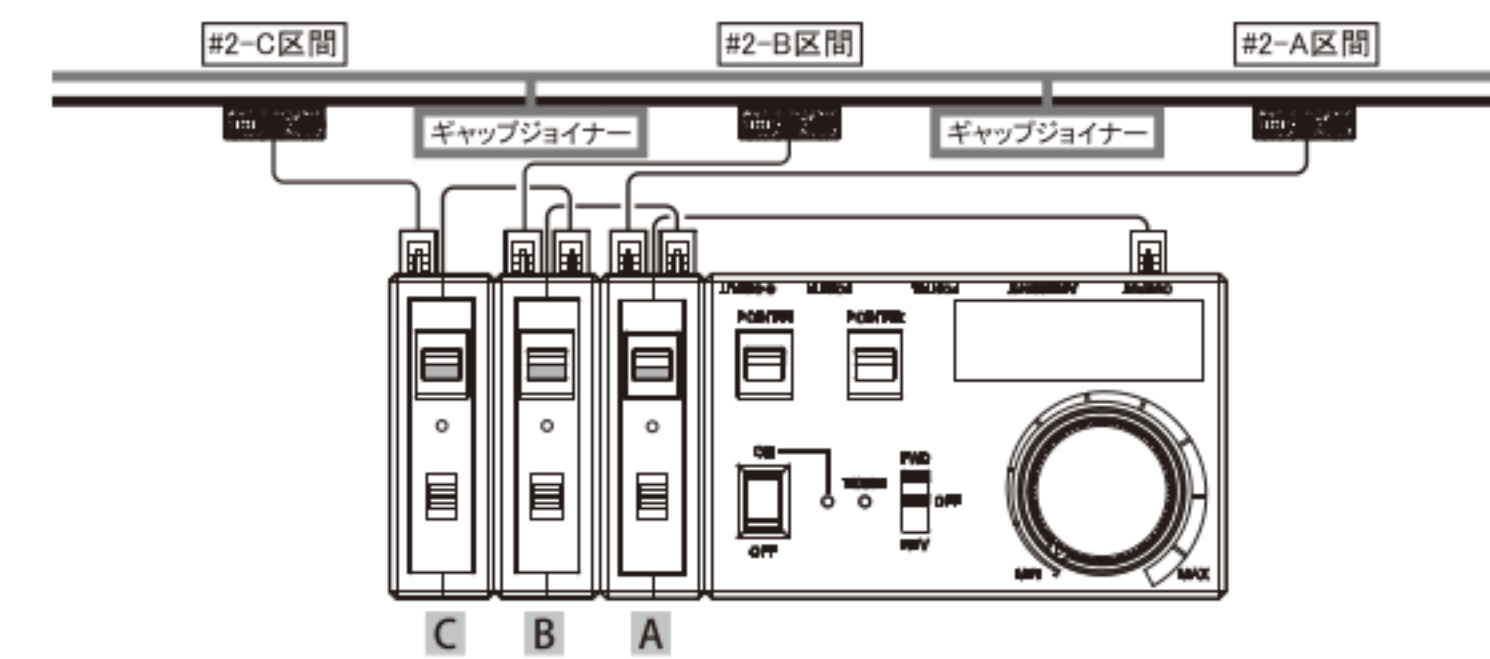
本線(#1区間)と、直通/停止区間(#2区間)を使う配線です。  
#2電源切替スイッチを<#1と直通>にしたまま、トレインコントローラーで列車Aを#2区間に入らせませす。連結する側のケーブルが#1区間と#2区間の間のギャップジョイナーの真上になる辺りで停車させます。  
#2区間は区間電源切替スイッチの切り替えで<#1と直通>または<停止>を選択します。  
※ギャップジョイナーは別売りの「A013ギャップジョイナー」をご使用ください。

### 4-2 4-1の拡張



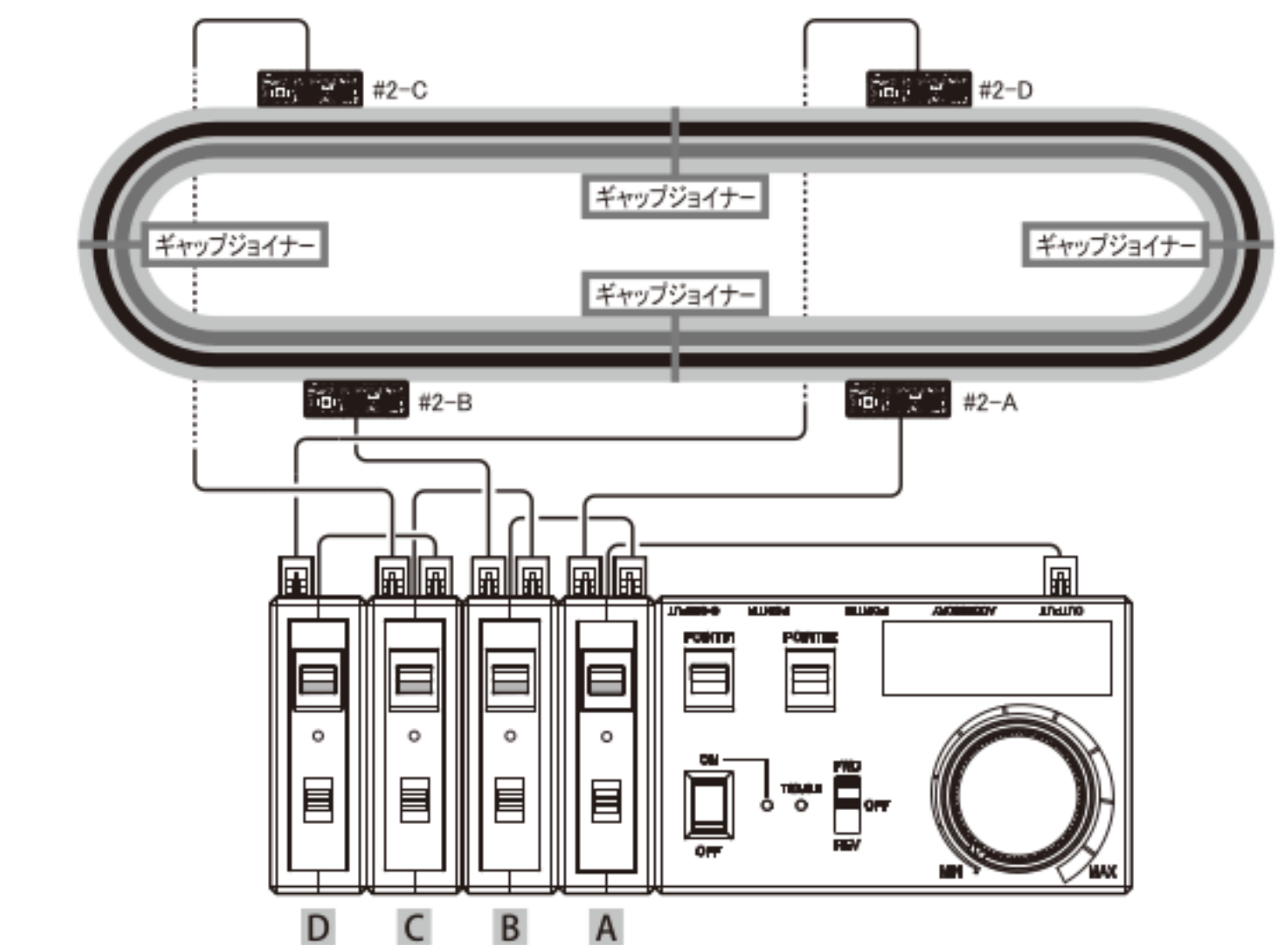
本線(#1区間)と、複数の直通/停止区間(#2区間)を使う配線です。区間電源スイッチ(A,B,C)の数だけ停止区間を設けることが出来、車両基地の縦列停車の様子が可能です。  
※トレインコントローラーにA029フィーダー用Y字ケーブルを取り付けて接続してください。

### 4-3 全区間選択式



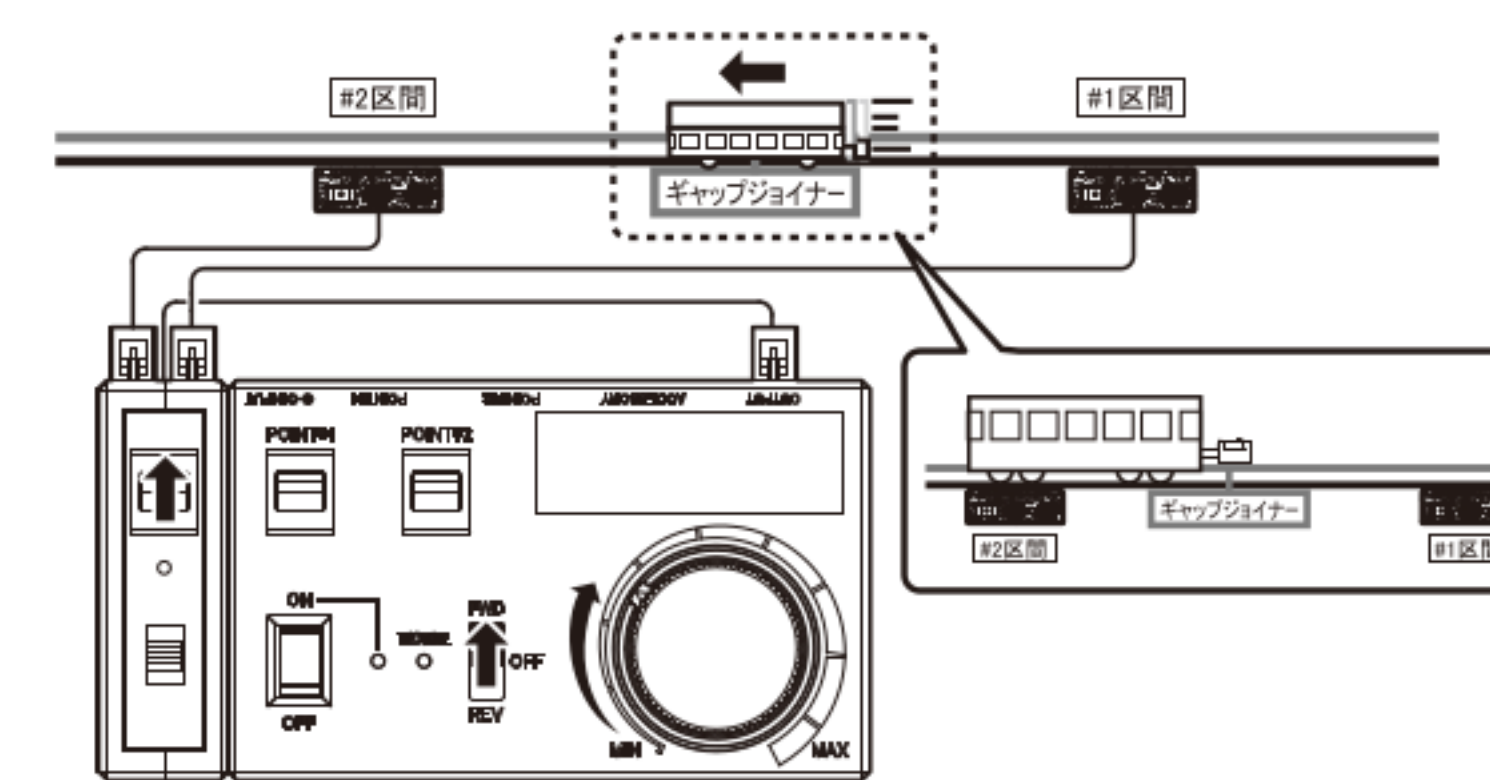
複数の直通/停止区間(#2区間)のみ使用し、すべての区間を個別に操作できます。区間電源スイッチの数だけ停止区間を設けることが出来ます。#1区間は設けません。

※オーバレイアウトの場合、全ての区間をギャップジョイナー等で絶縁します。また、フィーダーケーブルは必ず図と同じ向きで挿してください。

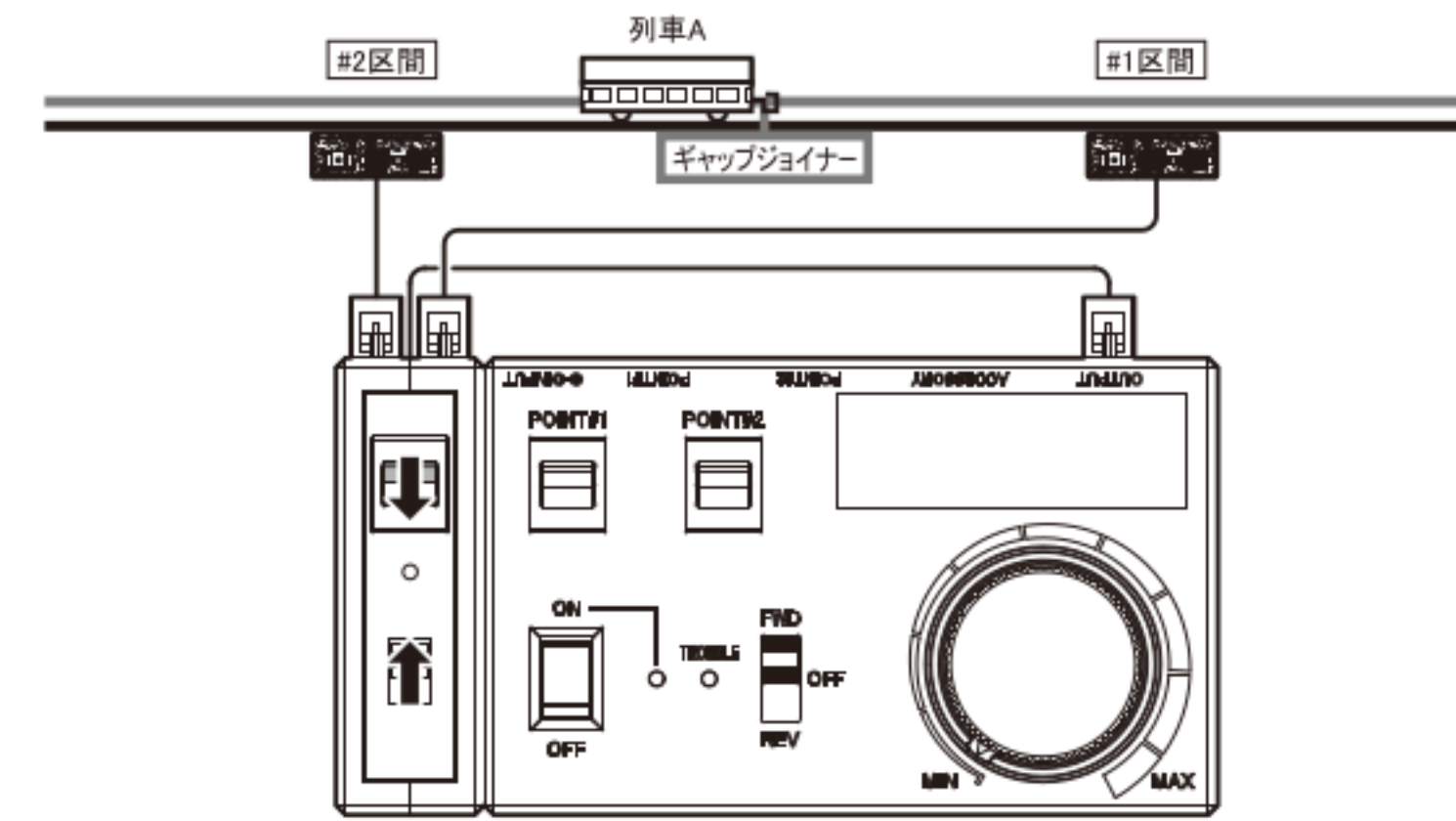


## 5. 操作方法(遊び方)

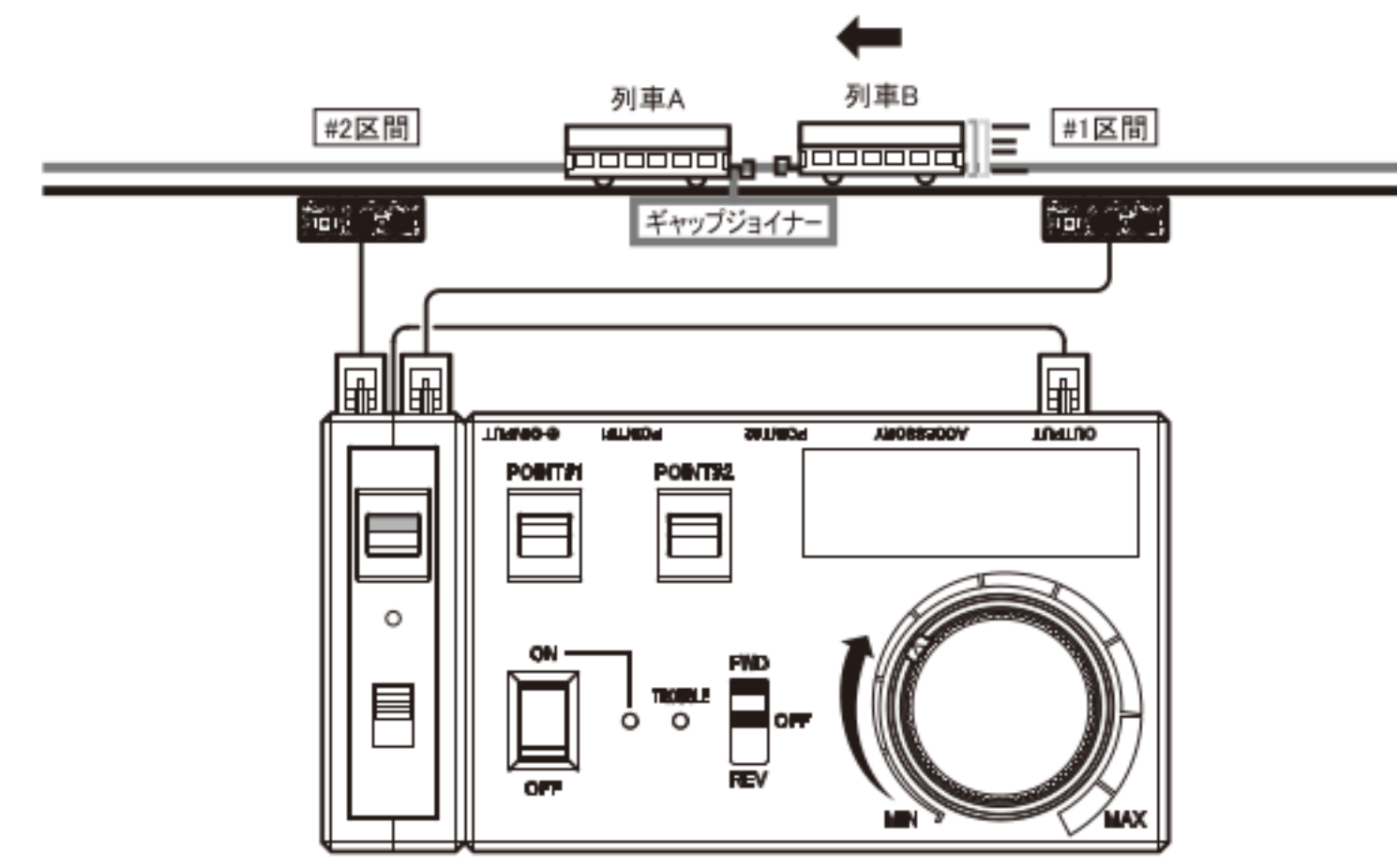
### 5-1 1区間のみ切り替えで、2つの動力車付き列車を連結させる～増結～



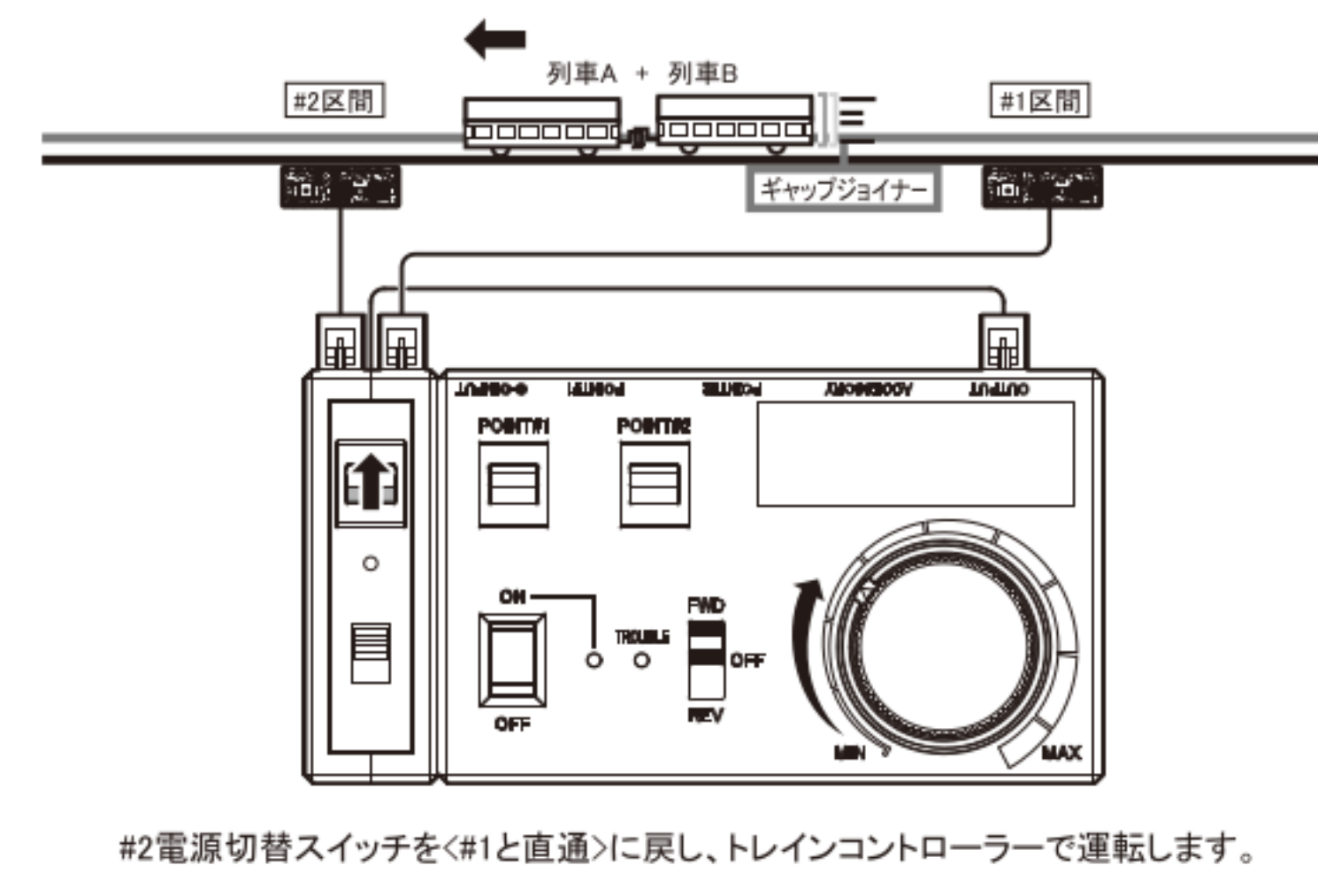
4-1の配線を使用し、同一線路上にいる2列車(各動力車)を連結させる遊び方です。  
#2電源切替スイッチを<#1と直通>にしたまま、トレインコントローラーで列車Aを#2区間に入らせませす。連結する側のケーブルが#1区間と#2区間の間のギャップジョイナーの真上になる辺りで停車させます。  
(※列車Aの車輪が#1区間の中に乗っていないことを確認してください。)



常点灯モード方向切り替えスイッチをトレインコントローラーの進行方向と同じ方向に合わせ、#2電源切替スイッチを<常点灯停車>にします。  
ヘッド/テールライトや室内灯等が点灯したまま停車状態となります。  
(※常点灯モード方向切り替えスイッチの向きによって、ヘッド/テールライトの向きが変わります。お好みの向きで停車させてください。)

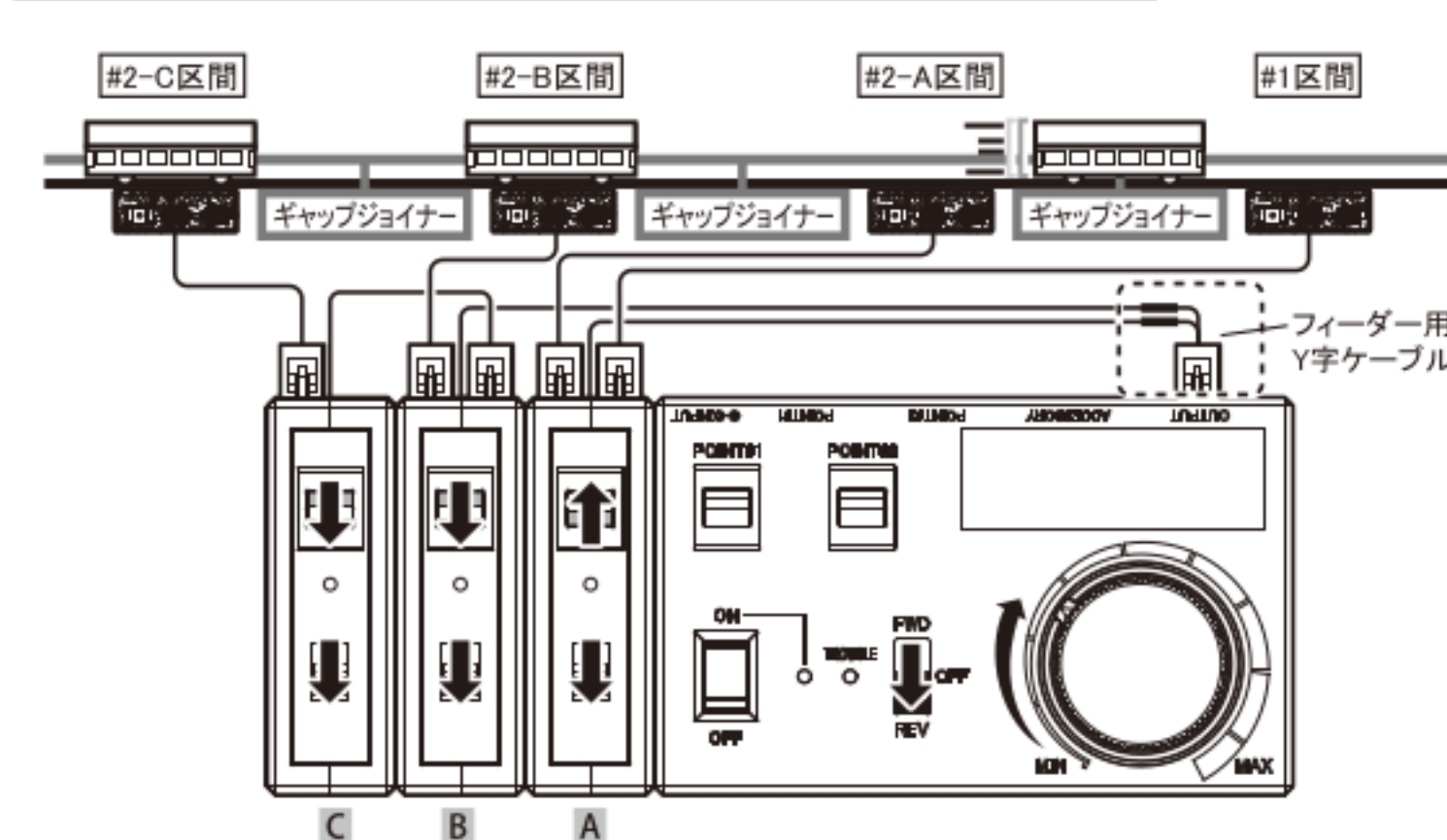


連結する列車Bをトレインコントローラーで操作し、ゆっくりと列車Aに連結させます。



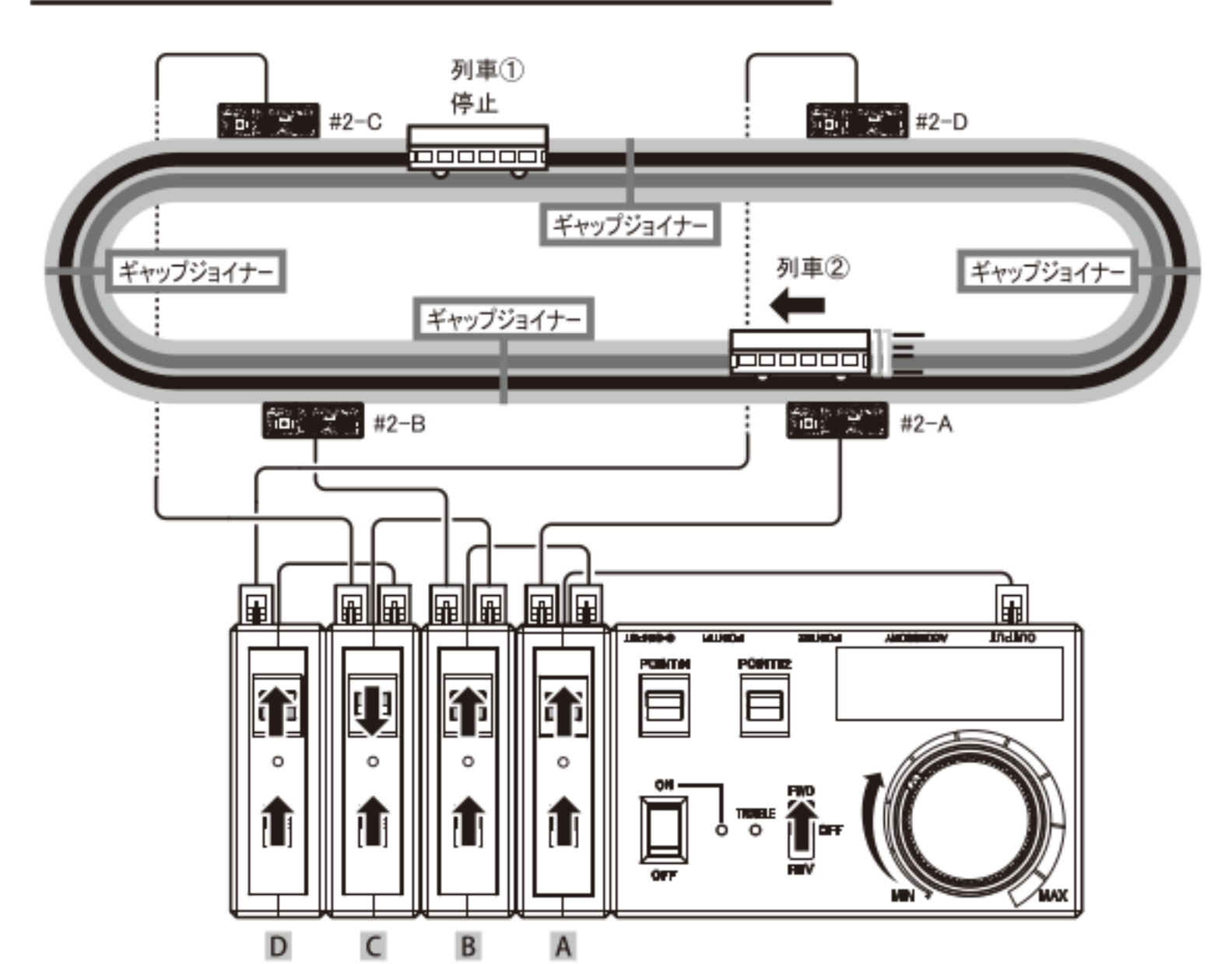
#2電源切替スイッチを<#1と直通>に戻し、トレインコントローラーで運転します。

### 5-2 2つ以上の動力車付き列車を縦列停車させる～車両基地～

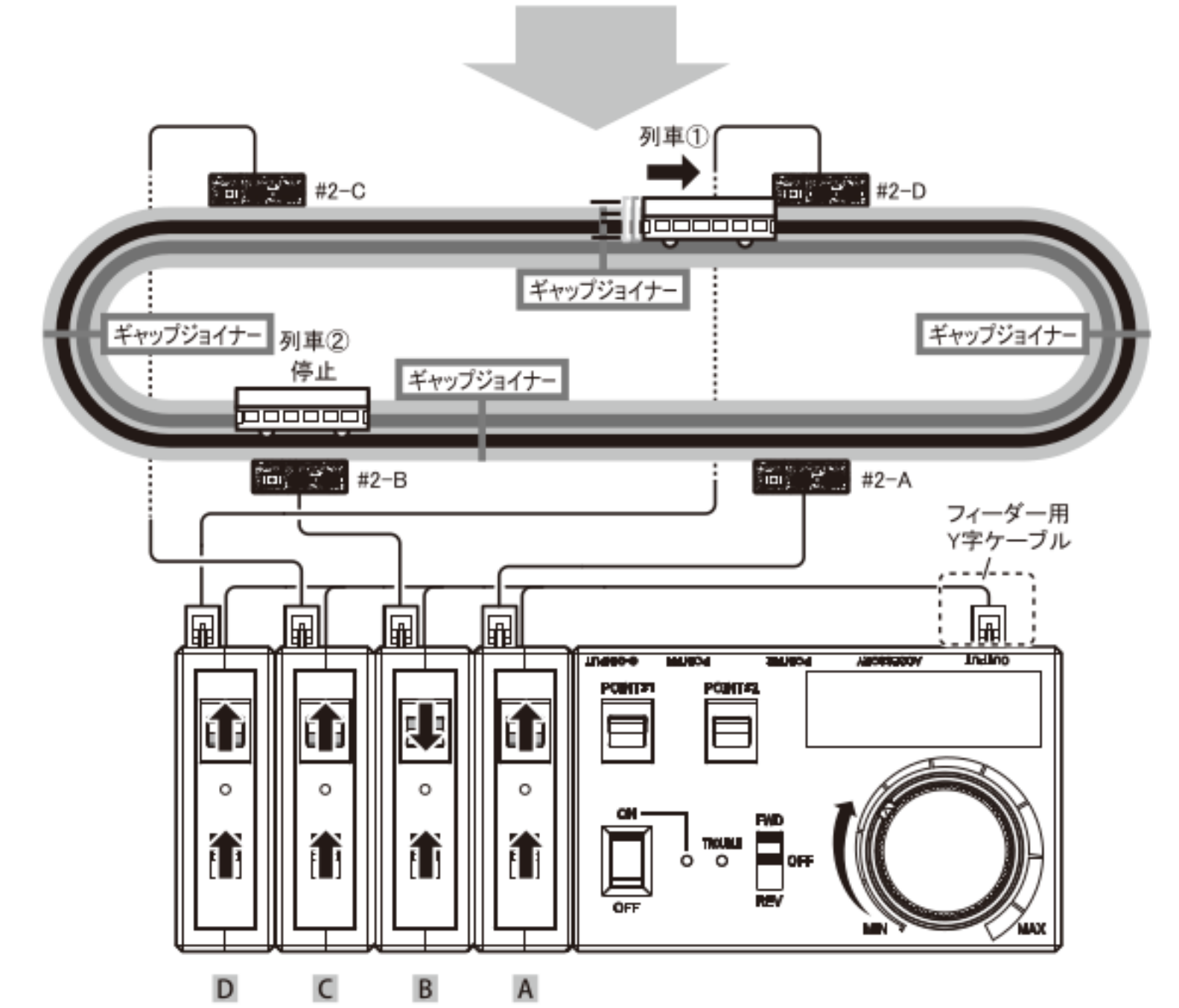


4-2または4-3のレイアウトと配線を使用します。(上図は4-2の配線です。)  
各区間にそれぞれ在線する動力車付き列車を、各区間のスイッチの切り替えによって自由に走行させることが出来ます。  
上図は、#2-Aに在線する列車が#1区間に向けて走行、#2-B・#2-C区間にそれぞれ在線する列車はライト類常点灯のまま停車している状態です。

### 5-3 2つ以上の動力車付き列車を各区間毎に操作する



4-3の配線を使用します。停止する列車①のいる区間のスイッチを<常点灯停車>に切り替え、列車②が走行する区間のスイッチを<直通>のまま、トレインコントローラーで操作します。



列車の在線する区間、走行させる区間によって、スイッチの切り替えを繰り返すことによって、1本の線路上の複数の列車を、個別に操作することが可能です。

## 6. 安全装置について

誤使用時の回路遮断装置がついており、回路が遮断されると電源ランプが消灯します。すぐにトレインコントローラーの電源を切り、トラブルの原因を取り除いてください。  
トレインコントローラーのスピードコントロールダイヤルを初期位置に戻してから再度電源を入れ直してください。

## 7. 常点灯モードについて

- 電源切り替え時に、車両がわずかに動く場合があります。
- 車両数やスイッチの数、レイアウトによっては、ライト類が暗くなる場合があります。

## 8. 故障・修理について

- 誤った使用法、取り扱い、改造、分解によって起こった事故、ケガ、故障等については、当社では一切責任を負いません。また、改造、分解した商品の修理はお受けできません。
- 製品の仕様、及び外観は、改良のため予告なく変更することがございます。ご了承ください。
- 製品には万全の注意を払って製造にあたっておりますが、万一お気づきの点がございましたら、下記までご連絡ください。